

討議資料

活動報告書 第

5号

大村市議会議員

北村タカトシ

22
北村
貴寿

OMURA Innovation!

議会の存在意義～Raison d'être du Parlement～

平成28年8月1日「市長報酬を50%、4ヶ月カット」といういわゆる減給議案が提出されました。議会の存在意義を考えさせられる議決となり、私のブログにもアクセスが集中。報告書でも改めてその内容をお知らせします（一部）

2016.8.5のブログより

注目を集めた先日の臨時議会。第54号議案＝市長減給議案は8時間のロングラン審議。委員会は4対2で否決、本会議も14対9で否決、となりました。

その委員長報告質疑や採決討論において「否決＝市長不信任」という主張がありました。

私は「市長不信任では無い。減給は勇み足である。再発防止こそが重要で、失敗を恐れずチャレンジする組織を作してほしい」という主張をしたところです。

それに対して「市長が出したいいわゆる議案に対して、否決をするということは市長不信任のなにものでもない」「これが本来の議員のあるべき発言であり姿である」という発言がありました。

私の考えを整理しておきます。

私は「否決＝市長不信任」という主張は極端すぎる、議会の議論を萎縮させかねないものだ、と思います。

市長部局が提出した議案を精査し、自由闊達な議論を繰り広げることが重要です。

多様な視点や価値観を議案に反映させ、時には修正や否決をすることこそが、市政発展に繋がる。

「是々非々」の議論をすることが必要だと考えているのです。

すべて賛成ならば議会など不要。存在意義のない追認機関というそしりを免れないでしょう。

私はこの議案について否決の立場ですし、これまでも修正議案を何度か提出しています。しかし、ほとんど議案には賛成しているのです。市政発展を考えれば「反対の為の反対」ではなく、

「是々非々」の議論をするために、私は有権者から議席を預かっていると考えています。

そして、どのような対策を講じたとしても、ミスがなくなることは無いでしょう。人間は失敗するのです。

大事なはその繰り返さない事。失敗から学ぶ再発防止を講じるのも市長の仕事です。

また、行政の仕事は時代の流れとともに変化します。

新しい仕事が最初から完璧であることは考えにくい。新たなミスも起きるでしょう。新しいミスには、新たな再発防止策を講じて完成度を上げていく。仕事はその繰り返しです。そのサイクルを構築することも含めて、市長の仕事であり、それに見合った報酬であると思っています。

また、市長が意図せずとも「減給という襖」をすませた、という考え方もあります。大ぶりの話になりますが、市長の仕事ぶりの可否、信任や不信任は「選挙」で決すればよい。今後の再発防止や組織の再構築に期待をしたい。

そんな「希望」を込めた議決だにご理解を頂きたいと思います。

大村市議会臨時会
市長給与カット案否決

大村市議会は1日、臨時会を開き、市の事務処理ミスを相次いだことを受け、園田裕史市長と吉野哲副市長の給与を4カ月間50%減額する条例改正案を賛成少数で否決し、閉会した。

市では今年4月以降に固定資産税納税通知書の誤表記、入札を巡る縦覧設計書の誤り、落札業者の誤認、介護保険料通知書の誤表記が相次いで発覚した。市側は業務の総点検のほか、プロジェクトチームで改善案を作成するなど説明したが、議員からは「再発防止策が不十分」「給与の減額は妥当性を欠く」との意見が相次いだ。採決の結果、賛成9、反対14で否決した。

臨時会後、園田市長は「議会の判断を重く受け止める。意識改革が目的の提案だったが、指摘された内容を協議、検討する」と話した。（左海力也）

（平成28年8月2日・長崎新聞）

議会活動

平成27年6月～28年3月、全4回の定例議会が開催されました。
全ての議会に登壇させて頂き、行政を質しました。
その内容をお知らせします。

27年6月議会

人口10万人のまちへ！

市長公約でもある人口10万人都市実現に向け、明確な人口目標を総合計画に明記すべきだ。国内人口が減少する中、大村は人口が伸びているが、9.6～9.8万人で頭打ちとされる。この予測を覆す為には市民の英知を結集し、今、行動を興さなければならぬ。その為には10万人という大目標を打ち立てる必要があると考える。

回答→地方都市で理想的な人口形態は10万人が一つの目安と思う。現在の人口は約9万4千人になっており、簡単にこの躍進の勢いは止まらない、また止めてはいけなくとも思っており、右肩上がりに伸ばす必要がある。交流人口等も大事ではあるが、定住人口がより大事だと思っているため、人口ビジョンに10万都市の実現を明記する。

投票証明書を発行せよ！

4月の地方統一選投票率は戦後最低、これまでの手法では効果が無いのは明らかだ。市民の政治参加を促すためには、新しい手法が必要である。投票証明書を提示すると商店等で様々なサービスを受けられる「センキョ割」という手法が広がっている。以前に発行しないと決めたとの事だが、再度市民や学生、商店街を交えて検討すべき。

回答→投票証明書を活用した投票率低下への対策については、本市選挙管理委員会での検討に加え、県下各市町選挙管理委員会連合会総会等においても提案し、検討したい。

その他の質問項目

シニア移住のまちづくりについて／鉄の駅設置構想について／模擬選挙の実施と政治リテラシー教育について

27年9月議会

主任児童委員の活動環境を見直すべき

子どもを見守る重要性は年々高まっており、市内12名とされている主任児童委員は少ないのではないかと。地区により世帯数が最大9,378世帯、最少3,301世帯の差、児童数では最大5,527名、最少1,450名で3倍以上の差があり偏りがある。活動費も微々たるものだ。活動環境を改善すべき。

回答→定数増加については民生委員を兼務されていることから、民生委員全体の数との調整も必要となる。委員の心のケアについては、県に対して何らかの方法が無いのか相談したい。



認知症高齢者見守りネットワークの拡充を

市内の独居高齢者は5000名を超え、孤独死は26年度で17名。高齢化に伴い今後も増加が予想される。地域で高齢者を見守るネットワークの強化が急務だ。まずは現在進めている表題のネットワークを拡充すべきだが、今は後どのように広げるのか。医師会や介護施設にも協力を要請すべき。

回答→徘徊の恐れのある高齢者の情報を登録し、行方不明になった際、早期発見するための、高齢者SOSネットワーク事業を今年度から実施しており、今後、医師会等との協定の締結を検討したい。

その他の質問項目

総合運動公園の整備に伴う産廃施設の移転について／大村市民会館閉館について／中心市街地複合ビル（旧浜屋）について

27年12月議会

市長のマニフェストについて

マニフェストは期限、財源、工程等を明記するべきものだが、市長のマニフェストには記載がない。中学校給食と中学校までの医療費無料化の実施時期、財源をはっきり示すべき。子育て支援は大切だが「無料」「タダ」という支援は受益者負担の原則に反するし、何より日本の社会的規範を失わせてしまう。政策の変更を求める。

回答→中学校給食については、3年後の供用開始を考えており、新たな財源の確保や導入予定のナイターレースなどによる歳入確保策を進め、財源として活用したい。

中心市街地複合ビル（旧大村浜屋）について

市長が議員時代に再三反対された旧大村浜屋跡地開発はどう考えるか？コールセンター誘致は難しいと考えるし、市民会館の閉館で会議室が不足する。子どもセンターや上下水道局等の外局を集約し、第二庁舎として再整備すべき。安定した人の流れをつくれれば民間事業者の誘引にも繋がる。当初の計画を一部変更して進めるべき。

回答→旧大村浜屋ビルの再開発については、国からの交付金の条件を考慮し、前市長の方向性から「ソーシャルビジネス」「ソーシャルサポート」という視点を持った複合ビルに変更できないか協議している。

その他の質問

市役所の新築について／人口ビジョンについて／チャリソン大村湾一周について／中小企業振興基本条例の改正について／入札制度の見直しについて

28年3月議会

多良の森トレイルランニングへ継続支援を！

4月23－24日多良山系を舞台に開催される第一回多良の森トレイルランニングは、県内では大村でしかできない、大村ならではの大会だ。昨年のプレ大会も好評であり、山岳連盟や地域との連携もできている。参加者400名中370名は市外、遠くは関東から参加がある。継続的に支援し、大村に人を集める地域資源として育てるべき。

回答→支援については大会のぼり作成、地域住民にお願いしエイドステーション設置を予定している。また、シティプロモーション推進事業の候補の一つとして検討したい。

発達障害の療育支援を拡充すべきだ

発達障害の生徒を支援する中学校通級は、郡中にしかない。南部の小学校を卒業する生徒や保護者の負担は大きく、玖島中に通級を設置すべき。また、発達障害への無理解や意識の低さが当事者を苦しめている。県のペアレントメンター制度を活用し、小学校全校で意識啓発を行うべきだ。保護者会と行政との連携も必要である。

回答→平成28年度に玖島中学校に開設する。ペアレントメンターについては教育委員会において、各学校を通じて取り組む。市としては幼稚園・保育所と小・中学校の連携を図り、保護者への理解を深める為、入学式を活用し、周知を図る。さらに市立幼稚園及び保育所の再編計画においても充実した支援ができるように、施設の再整備を考へたい。

大村市教委は7日、情緒に障害がある中学生を対象にした通級指導教室について、新年度から市立玖島中に新設する方針を明らかにした。市内の中学校で通級指導教室の設置は2校目になる。同日の定例市議会一般質問で北村貴寿議員（みらいの風）の質問に答えた。通級は通常学級とは別の教室で、週に数時間、担当教諭が一对一形式などで日常生活のトレーニングや苦手教科の補助指導をする。市内では、市立大村小、市立竹松小の2校に、言語障害、情緒障害児対象の通級指導教室がある。一方、中学校では、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）に対応した通級指導教室が市北部の市立郡中にしかなく、市南部の生徒は時間をかけて同中に出向かなければならないのが実情という。

市教委によると、市内の小、中学校の児童生徒数は9203人で、発達障害の傾向がある子どもは小学校

玖島中に「通級」設置

新年度、情緒障害に対応

大村市教委は7日、情緒に障害がある中学生を対象にした通級指導教室について、新年度から市立玖島中に新設する方針を明らかにした。市内の中学校で通級指導教室の設置は2校目になる。同日の定例市議会一般質問で北村貴寿議員（みらいの風）の質問に答えた。通級は通常学級とは別の教室で、週に数時間、担当教諭が一对一形式などで日常生活のトレーニングや苦手教科の補助指導をする。市内では、市立大村小、市立竹松小の2校に、言語障害、情緒障害児対象の通級指導教室がある。一方、中学校では、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）に対応した通級指導教室が市北部の市立郡中にしかなく、市南部の生徒は時間をかけて同中に出向かなければならないのが実情という。

で3・8%（233人）、中学校で5・5%（167人）。このうち通級指導を受けているのは計94人（昨年4月現在）。

園田裕史市長は「幼稚園、保育園、小、中学校が連動する形で支援を充実できるような施設の再整備を考えていきたい」と述べた。

（左海力也）

その他の質問項目

大村湾を活かしたまちづくりについて／スタートアップ都市推進協議会の加入について／大村公園のバリアフリー化について／総合運動公園整備事業について／子どもの学習支援事業について



議事録全文は、大村市議会のホームページにて。
また、質疑の全映像もご覧いただけます。
ケーブルTV・FMおおむらでも放送中！

～インターネットラジオ放送中！～



他の議員との議会反省会や、様々な分野の皆さんとのトークライブをお楽しみ下さい。
ホームページ <http://takatosi.net> からお聞きいただけます。i Tunes でも配信中！

その他の活動



スタッフとして参画しました

映画「日本一幸せな従業員をつくる」上映会
& 後援会にスタッフとして参画しました。

42歳。大学院生です

42歳で入学を許された長崎大学大学院、
経済経営政策専攻。中国からの留学生と
共に、青年会議所のご縁を頼りに学んで
います。



MIE地方創成

ベンチャーサミット2016に参加

三重県にて開催された「MIE地方創成ベン
チャーサミット2016」にて鈴木知事と。
鈴木知事は42歳、その他にも福岡市長を
初めとする若手政治家や起業家が集うサ
ミットに参加。大いに刺激を受けました。



完走しました!!

多良山系を舞台に、全国のランナーが
集った第1回多良の森トレイルランニン
グ大会。

ランナーとして参加し、フォレストコ
ース（19キロ）を完走しました！タイ
ムは3時間42分、103位でした。



全国各地へ行政視察に赴きました

- ・富山県富山市「選ばれるまちづくり事業」
- ・長野県茅野市「茅野・産業振興プラザ」
- ・長野県上田市「サントミュージゼ」
- ・神奈川県横浜市「センキョ割」
- ・東京都「地方公共団体金融機構」
- ・大村市東京事務所「機能強化アクションプラン」
- ・東京都府中市「公共施設マネジメント」
- ・東京都練馬区「モバイルレジ」
- ・地域福祉政策・実践編「地域包括ケアシステム構築へ向けた取り組み事例」
「介護ロボットの普及促進」
- ・三重県四日市市「MIE地方創成ベンチャーサミット2016」
- ・愛知県常滑市「ボートレースとこなめ」
- ・千葉県千葉市議会「市議会だより、スマホ・タブレットによる議会ライブ中継」
- ・香川県高松市「高松丸亀商店街再開発事業」「ボートレースまるがめ」
- ・岡山県瀬戸内市「牛窓オリーブ園」 ・広島県広島市「やぐちおもいやりタクシー」



実績

- ・市長マニフェスト評価・検証につながる行政評価制度の開始
- ・福祉避難所の指定開始
- ・障がい者雇用の推進、就労支援ガイドブック「働きたい」リニューアル
- ・大村市公式フェイスブック始動
- ・議会インターネット放送開始
- ・病時保育所増設
- ・行政窓口耳マーク(筆談マーク)設置
- ・介護支援ボランティアポイント制度一部見直し
- ・大村公園のバリアフリー提言書を提出、整備開始、花まつり期間中の歩行者天国化
- ・フッ化物洗口推進
- ・学校等におけるAED使用講習強化
- ・第5次総合計画に新たな観光資源として車輛基地活用を明記
- ・芸術文化支援、激励制度の導入
- ・プロポーザル制度の審査結果公表ガイドライン強化
- ・人口ビジョンに10万都市の実現を明記
- ・玖島中学校へ「通級」設置
- ・総合運動公園の早期完成を求める請願書を全会一致にて可決
- ・入札情報のセキュリティ強化
- ・**中小企業振興基本条例の制定(県内初)**
- ・**骨髄ドナー支援制度を導入(県内初)**

※県選挙管理委員会ホームページで全ての政治団体収支報告が閲覧できます。議会政務活動費については、大村市議会のホームページにて。

～政治資金収支のご報告～

●平成27年政治活動収支

収入総額	2,592,251円
(内訳)	
・繰越	492,251円
・借入金	2,000,000円
・政党からの収入	100,000円
支出総額	2,135,037円
(内訳)	
・人件費	265,600円
・備品、消耗品費	32,876円
・事務所費	384,890円
・組織活動費	616,790円
・機関誌の発行その他事業費	758,081円
・調査研究費	8,000円
・寄付、交付金	68,800円

資産等	
借入金	6,114,205円

選挙費用
平成27年市議会議員選挙総支出額 832,886円
(別途)

北村タカトシプロフィール

大村市議会議員 二期目 所属会派「みらいの風」
自民党大村支部青年局長

昭和48年2月6日生 水瓶座の〇型

大村市武部町在住 家族：妻 理子(医師：北村理子クリニック皮膚形成外科)

- ・市立三城小学校 ・市立大村中学校
- ・県立諫早商業高校 情報処理科
- ・国立いさはやコンピュータカレッジ 卒業
- ・国立長崎大学大学院 経済学研究科(41歳で合格・在学中)
- ・社会福祉法人瑞鳳会 介護サービスセンターベイサイド大村 役員

○選挙歴

平成19年 大村市議会議員選挙 1,022票 落選
平成22年 大村市長選挙 3,236票 落選
平成23年 大村市市議会議員選挙 1,673票 初当選
・議会運営委員会 副委員長
・地場産業振興調査特別委員会 副委員長
平成27年 大村市市議会議員選挙 1,554票 二期目
・総務委員長

○政治運動関係

県内外で公開討論会を推進、コーディネーター等を務めました。

平成17年 郵政解散における長崎三区・衆議院議員選挙
平成18年 大村市長選挙において長崎県初のローカル・マニフェスト型公開討論会
平成20年 長崎一区・三区・四区 政権“せんたく”公開討論会
平成21年 福岡県柳川市長選挙 福岡県筑後市長選挙
平成22年 長崎県知事選挙 長崎県南島原市長選挙 長崎県参議院選挙
平成24年 熊本県知事選挙 福岡県筑後市市長マニフェスト中間検証
長崎県長与町長選挙
長崎県福江市市長選挙 長崎一区衆議院議員選挙
平成25年 熊本県菊池市長選挙
熊本県八代市長選挙
平成26年 長崎県長与町長マニフェスト検証会
長崎県五島市長マニフェスト検証会

○その他

平成12年 バイクイベント長崎ピースラリーを毎年開催
骨髓バンクドナー登録推進運動を発信中
平成17年 (公社)大村青年会議所第46代理事長
おおむら夏越まつり実行委員長
平成20年 (公社)日本青年会議所第34代長崎ブロック会長
北方領土へ上陸視察・日本人墓地清掃
平成23年 宮城県にて災害復興支援ボランティアに参加
平成24年 骨髓移植のドナーとなり骨髓を提供
平成25年 櫻井よしこ塾頭・
日本JCグローバルリーダー育成塾 最優秀塾生
東日本大震災支援活動「復興フォーラムin大村」開催
平成26年 グローバルリーダーネットワーク副代表に就任
中小企業振興基本条例勉強会コーディネーター
大村市スポーツを生かしたまちづくりコーディネーター

○趣味：バイク・替え歌・山あるき



○最新動向は各種SNSにて！
リクエスト、フォロー待ってます！



北村タカトシ事務所

〒856-0847 大村市西部町264-1

TEL:0957-52-7731(ベイサイド大村内)

FAX:0957-50-0733

ホームページ <http://takatosi.net>
メール kitamura@takatosi.net

政治をイノベーション!!